

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.5
2011.3.24

支援物資受入倉庫確保

岩手県共同対策本部では、全国からの物資受け入れ倉庫の準備をしていましたが、JA岩手県中央会のご好意で紫波町にある倉庫をお借りすることが出来ました。救援物資配送のため被災地での拠点（地域支援センター）作りも進んでおり、今後支援体制を強めていきます。



紫波に借りた支援物資受入倉庫

◎当面の救援物資輸送先

当面の救援物資はここに搬送して下さい。

●大船渡民商

〒022-0003大船渡市盛町字御山下10-6
0192-26-4817（不通）

●陸前高田民商

当面大船渡民商へ。来週早々には拠点完成見込み。

●宮古民商

〒027-0073宮古市緑ヶ丘3-31
0193-63-1346（電話可能）

●上閉伊民商

〒028-0481遠野市小友町20-2-2 及川一男方
0198-68-2303

●日本共産党久慈地区委員会（洋野、久慈、野田、普代）

久慈市長内町6-11-1 0194-52-1741

●日本共産党宮古地区委員会（田野畑、岩泉、宮古、山田）

宮古市宮町4-6-49 0193-62-5808（不通）

●日本共産党東部地区委員会（大槌、釜石）

釜石市中妻町3-13-24 0193-23-6493

●日本共産党気仙地区委員会（大船渡、陸前高田）

大船渡は大船渡民商へ

陸前高田は中里元市長宅へ（竹駒町）

◆民医連では連日救援隊

民医連では3月22日に第2次救援隊を現地に送りました。第1次救援隊は2日間で140人に問診、100数人に処方しました。また、川久保病院の伊藤医師が避難所で医療講話を行いました。



全国民医連からの支援車



救護所で問診、血圧測定

◆秋田県労連から支援車

3月23日、秋田県労連から4人が救援物資を積んで緊急物資運搬車が岩手県に入りました。救援車は鈴木本部長の案内で宮古方面に向かい、宮古民商に物資を届けました。燃料不足の折、薪ストーブも2台積んできていただきました。

物資搬送後、現地では女性の下着、生理用品、清拭用アルコール、手袋、マスクなどなど。衣類・タオルも必要という情報も持ち帰っています。



秋田県労連からの支援車

◆被災者が県に要請

釜石の被災者で作った団体「東日本大震災被災者の生活再建をめざす釜石の会」(代表前川慧一)は共同対策本部、革新懇とともに岩手県へ緊急申し入れを行いました。

内容は、①被災者全員の住宅の確保、②災害見舞金の拡充と当面の生活資金の支給、③生活保護

費の支給、④失業手当の支給と緊急失対事業の実施、⑤車を失った人たちへの助成金の支給、⑥火災保険の補償範囲の拡大適用、⑦釜石～宮古間の直通バスの運行、⑧預金通帳再発行のため、身分証明書、健康保険証の発行、です。

県では雇用対策労働室の川村労働課長、保健福祉部地域福祉課岡崎生活福祉担当課長などが応対し、国の事業については国への要望で最大限努力したい。預金通帳は氏名住所生年月日で対応可能と思う。医療も保険証無しでの柔軟な対応となっている。生活福祉資金は市町村の社会福祉協議会が窓口となる。緊急融資は10万円。見舞金は市の担当。生活保護は福祉事務所で個別にきちっと対応していく。提出された要望書は、県の対策会議でも各担当ごとに検討させて頂く。などと回答しました。

この要請書は釜石市にも提出されています。

◆県医労・生協連・消団連

3月23日、県医労・生協連・消団連は県立宮古病院などに救援に行きました。

◆岩商連の活動予定

- 3月24日 陸前高田会員安否確認行動
- 3月25日 陸前高田、上閉伊会員安否確認行動
- 3月26日 高田・大船渡拠点作り
コンテナの搬送



大船渡の被害

※共同対策本部では情報を集めています。活動予定・情報・写真等をお寄せ下さい。